

修了認定・学位授与の方針(DP)	(1) 哲学、芸術学、心理学のいずれかに重点を置きつつ、一部、他の分野も学び、幅広い専門知識を備えた専門職業人としての実践能力、並びに、創造性豊かな研究能力を有しています。					
	(2) 理論的な専門知識と併せて、実践的な専門的能力をも身につけ、高い倫理観と積極的な社会貢献への意志を備えています。					
対応する修了認定・学位授与の方針(DP)の番号	(1)(2)	(1)(2)	(1)(2)	(1)(2)	(1)(2)	(1)(2)
到達目標	A 心理学の多様な領域における専門知識と、高度な研究遂行能力を有している。	B 哲学の多様な領域における専門知識と、高度な研究遂行能力を有している。	C 芸術学の多様な領域における専門知識と、高度な研究遂行能力を有している。	D 方法論が異なる複数の領域や分野の知識を深め、統合的・学際的に人間について考究することができる。	E 専門分野における研究法や倫理を高水準で修得し、創造性豊かな研究を実践することができる。	F 専攻・領域を超えて、多様化する社会に対応した幅広い専門的知見を身につけ、柔軟な思考力を有している。
科目群	専門科目 (心理学)	専門科目 (哲学)	専門科目 (芸術学)	融合科目	リサーチワーク科目	専攻横断科目・関連基礎科目
修士論文 (多元教養コースでは修士論文に代わる研究成果物、リカレントコースでは修士論文に代わる研究報告)						
2 年	臨床心理学特論 発達心理学特論 社会心理学特論 人格心理学特論 生態心理学特論	人間科学思想研究 言語思想研究 現代芸術思想研究 芸術思想研究 人間・環境学研究 環境倫理研究 生命倫理研究 現代思想特論 言語イメージ特論 環境教育学特論 哲学基礎研究 I・II・III・IV・V	現代芸術思想研究 芸術思想研究 現代社会と表現 芸術と福祉 美学思想特論 芸術学基礎研究 I・II・III・IV・V	人間科学総論 現代芸術思想研究 芸術思想研究	人間科学演習 I・II・III・IV	【専攻横断科目】 日本文学の主要問題 a・b 日本語学の主要問題 a・b 英語学の主要問題 a・b 英米文学の主要問題 a・b 英米文化の主要問題 a・b 応用社会学の主要問題 I・II 歴史学と地理学の主要問題 I・II 人間科学の主要問題 I・II・III・IV・V・VI・VII
1 年	心理学特別研究 I・II・III・IV・V・VI 心理学基礎研究 I・II・III・IV・V 心理学研究法特論 心理学統計法特論					【関連基礎科目】 哲学基礎研究 I・II・III・IV・V 芸術学基礎研究 I・II・III・IV・V 心理学基礎研究 I・II・III・IV・V

< 専門探究コース >

1. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目 (専門科目に限る。) を、専攻横断科目と併せて 8 単位を上限として選択科目に充てることができる。
 2. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4 単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 注) 上記 1 の他専攻の開講科目 (専門科目に限る。) は、カリキュラムツリー上に表示していない。

< 多元教養コース >

1. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目 (専門科目に限る。) については、8 単位を上限として選択科目に充てることができる。
 2. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4 単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 注) 上記 1 の他専攻の開講科目 (専門科目に限る。) は、カリキュラムツリー上に表示していない。

< リカレントコース >

1. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目 (専門科目に限る。) については、8 単位を上限として選択科目に充てることができる。
 2. 関連基礎科目については、12 単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 注) 上記 1 の他専攻の開講科目 (専門科目に限る。) は、カリキュラムツリー上に表示していない。